

外国人住民医療研究会第1回セミナー

外国人住民のための医療の今

日本には既に260万人を超える外国人が住んでいますが、様々な障壁で受療が遅れがちです。新たな外国人材の受け入れが決まった今、言葉の支援や制度・出身国側の事情など、サポートに必要な情報を共有する多職種間のネットワークが必要だと思いませんか？様々な立場から課題を語り連携の道を探ります。

在住外国人の動向と求められる多職種連携

沢田 貴志

(港町診療所/シェア=国際保健協力市民の会)

国際診療の現場からみた外国人住民の医療

二見 茜

(東京医科歯科大学医学部附属病院)

保健行政と外国人住民と

長嶺 路子

(みなと保健所)

医療機関における外国人へのソーシャルワーク支援

小嶋 道子

(都立駒込病院)

外国人医療に危機をもたらす移民政策の不在

大川 昭博

(移住者と連帯する全国ネットワーク)

【日時】 2019年3月9日 (土) 15時～17時 (開場14時30分)

【場所】 東京大学医学部図書館 3F 333教室

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_02_01_j.html

【対象】 医師・看護師・保健師・ソーシャルワーカー

保健福祉行政関係者・外国人支援に関心のある方

参加ご希望の方は、
事前に下記フォームに
ご入力の上でお申し込みください。
締め切り：2019年3月7日 (木)

<https://bit.ly/2sYdHEC>



【問い合わせ先】

migranthealth20@gmail.com

世話人：沢田貴志 港町診療所

主催：外国人住民医療研究会

協賛：東京大学大学院 医学系研究科 保健社会行動学分野